

2016.03.29

アジア15都市生活者の好きなスポーツ、スポーツイベント

- 好きなスポーツ、男性は「サッカー」がダントツ1位で、「バスケットボール」「バドミントン」が続く。女性のトップ3は「バドミントン」「水泳」「サッカー」。
- 興味/関心の高いスポーツイベント・スポーツリーグは、多くの都市で「サッカー」と「オリンピック」が上位。ASEAN都市では「Southeast Asian Games」、台北とソウルは「野球」、メトロマニラと台北は「バスケットボール」、インドでは「クリケット」が上位に入る。
- スポーツ協賛は、企業イメージ向上に効果的。

博報堂では、グローバル市場でのマーケティング戦略に活用するためのオリジナル生活者調査『Global HABIT（グローバル・ハビット）』を2000年からアジアを中心に世界の主要都市で中・上位収入層を対象に毎年実施しています。最新（2015年実施）のGlobal HABIT調査のデータをもとに様々な角度から分析を行い、グローバル市場での可能性に繋がるヒントをご紹介します。今回のレポートでは、アジア15都市生活者のスポーツに関する各種データをご紹介します。スポーツイベントを活用したマーケティング活動の参考に、当レポートをご活用ください。

（15都市） 香港・台北・ソウル・上海・北京・広州・シンガポール・バンコク・ジャカルタ・クアラルンプール・メトロマニラ・ホーチミンシティ・ヤンゴン・デリー・ムンバイ
※参考としてロシア（モスクワ）、アメリカ（ニューヨーク）とブラジル（サンパウロ）のデータも紹介します。

■好きなスポーツ

アジア15都市平均で見ると、男性のトップ5は、サッカー（57.2%）、バスケットボール（32.9%）、バドミントン（26.6%）、水泳（23.4%）、自転車（16.7%）で、サッカーが2位以下を大きく引き離す。女性のトップ5は、バドミントン（32.0%）、水泳（25.8%）、サッカー（16.4%）、自転車（16.0%）、バレーボール（15.7%）。

都市別に見てみると、男性はサッカーの人气が高く、アジア10都市（香港、ソウル、上海、北京、広州、シンガポール、バンコク、ジャカルタ、ホーチミンシティ、ヤンゴン）で1位。一方、台北とメトロマニラでは「バスケットボール」、クアラルンプールでは「バドミントン」、インド2都市（デリー、ムンバイ）では「クリケット」が1位となっている。また、ソウルと台北では「野球」、バンコクでは「ムエタイ」と「ボクシング」、メトロマニラでは「ボクシング」、ヤンゴンでは「セパタクロー」と「Cane Ball」の人气も高い。女性は男性ほど特定のスポーツに人气が集中しておらず、「バドミントン」は4都市（香港、北京、広州、クアラルンプール）で1位、「水泳」も4都市（上海、シンガポール、ジャカルタ、ホーチミンシティ）で1位。台北は「自転車」、ソウルとヤンゴンは「サッカー」、バンコクとメトロマニラは「バレーボール」、インド2都市（デリー、ムンバイ）は「クリケット」が1位となっている。

■興味/関心のあるスポーツイベント、スポーツリーグ

男性のアジア15都市平均では、1位「FIFAクラブワールドカップ」（38.4%）、2位「イングランドプレミアリーグ」（34.0%）、3位「FIFAワールドカップ（2018年ロシア）」（31.9%）、4位「自国のサッカーリーグ」（26.9%）、5位「UEFAチャンピオンズリーグ」（25.4%）で、サッカーイベント・リーグがトップ5を占めており人気の高さがうかがえる。オリンピックは、6位「リオデジャネイロオリンピック」（24.2%）、10位「東京オリンピック」（18.2%）、11位「ピョンチャンオリンピック」（15.2%）。都市ごとに見てみると、台北とメトロマニラの1位は「NBA（全米バスケットボールリーグ）」、台北とソウルでは「メジャーリーグベースボール」がトップ3に入り、台北は「ワールド・ベースボールクラシック」もトップ3に入っている。また、ASEAN都市では「Southeast Asian Games」がトップ5に入る都市が多く、インド2都市（デリー、ムンバイ）は「クリケット」関連が圧倒的に高い。

一方、女性は男性に比べると全体的にスポーツイベント・リーグに対する興味/関心は低いものの、中国3都市（上海、北京、広州）の女性はオリンピックへの関心が高い。また、男性と好きなスポーツイベント・リーグの傾向が似ている都市が多い。

■スポーツ協賛に対する評価

アジア15都市平均は、「その企業のイメージが良くなる」（77.2%）、「その企業に活発さを感じる」（75.3%）、「その企業に関心が高まる」（74.8%）、「その企業が、地域や社会に貢献していると感じる」（73.7%）、その企業の商品（サービス）が身近に感じる」（66.7%）という順であった。都市ごとに見ても、5つの項目全て5割を超えていることから、スポーツ協賛が企業のイメージ向上に効果的である様子がうかがえる。

■好きな番組のジャンル

男性のアジア15都市平均は、1位「映画」（79.3%）、2位「スポーツ」（64.6%）、3位「ドラマ（64.5%）」で、スポーツ番組の人气は高い。一方、女性は「ドラマ」と「映画」の人气が高く、スポーツ番組は上位には入っていない。

1.好きなスポーツ

下表は、男女それぞれの好きなスポーツトップ5である。

【男性】

- ・アジア15都市平均で見ると、1位「サッカー」（57.2%）、2位「バスケットボール」（32.9%）、3位「バドミントン」（26.6%）、4位「水泳」（23.4%）、5位「自転車」（16.7%）。サッカーが2位以下を大きく引き離している。
- ・都市ごとに見てみると、「サッカー」はアジア13都市でトップ5に入り、10都市（香港、ソウル、上海、北京、広州、シンガポール、バンコク、ジャカルタ、ホーチミンシティ、ヤンゴン）で1位となっており人気の高さがうかがえる。一方、台北とメトロマニラでは「バスケットボール」、クアラルンプールでは「バドミントン」、インド2都市（デリー、ムンバイ）では「クリケット」が1位となっている。
- ・ソウルと台北では「野球」、バンコクでは「ムエタイ」と「ボクシング」、メトロマニラでは「ボクシング」、ヤンゴンでは「セパタクロー」と「Cane Ball」の人気の高い。

【女性】

- ・アジア15都市平均では、1位「バドミントン」（32.0%）、2位「水泳」（25.8%）、3位「サッカー」（16.4%）、4位「自転車」（16.0%）、5位「バレーボール」（15.7%）で、男性ほど特定のスポーツに人気集中している訳ではない。
- ・都市ごとに見てみると、「バドミントン」は15都市全てでトップ5に入っており、4都市（香港、北京、広州、クアラルンプール）で1位。「水泳」も4都市（上海、シンガポール、ジャカルタ、ホーチミンシティ）で1位で、台北は「自転車」、ソウルとヤンゴンは「サッカー」、バンコクとメトロマニラは「バレーボール」、インド2都市（デリー、ムンバイ）は「クリケット」が1位となっている。

Q:あなたはどのようなスポーツが好きですか（複数回答／選択肢26-29）※選択肢は都市によって個別設定しているものがある。

	男性					女性				
	1位	2位	3位	4位	5位	1位	2位	3位	4位	5位
アジア15都市	サッカー (57.2%)	バスケットボール (32.9%)	バドミントン (26.6%)	水泳 (23.4%)	自転車 (16.7%)	バドミントン (32.0%)	水泳 (25.8%)	サッカー (16.4%)	自転車 (16.0%)	バレーボール (15.7%)
香港	サッカー (60.8%)	水泳 (56.8%)	自転車 (55.5%)	バスケットボール (51.3%)	バドミントン (42.8%)	バドミントン (62.8%)	水泳 (61.5%)	自転車 (55.8%)	フィギュアスケート (24.8%)	バレーボール (18.0%)
台北	バスケットボール (58.8%)	自転車 (48.5%)	水泳 (45.5%)	野球 (43.8%)	バドミントン (34.0%)	自転車 (54.3%)	水泳 (47.5%)	バドミントン (45.0%)	バスケットボール (26.8%)	新体操 (21.8%)
ソウル	サッカー (67.2%)	野球 (62.4%)	自転車 (38.4%)	バスケットボール (32.0%)	水泳 (27.2%)	サッカー (32.4%)	自転車 (31.2%)	水泳 (30.0%)	バドミントン (26.8%)	フィギュアスケート (26.0%)
上海	サッカー (85.1%)	バスケットボール (71.8%)	テニス (36.6%)	バドミントン (31.4%)	水泳 (29.2%)	水泳 (21.2%)	バドミントン (15.8%)	バスケットボール (15.5%)	卓球 (14.8%)	サッカー (14.0%)
北京	サッカー (68.1%)	バスケットボール (54.1%)	バドミントン (29.2%)	卓球 (22.4%)	水泳 (20.9%)	バドミントン (33.0%)	水泳 (30.5%)	卓球 (19.5%)	バスケットボール (18.7%)	サッカー (18.0%)
広州	サッカー (82.8%)	バスケットボール (52.5%)	バドミントン (45.8%)	卓球 (32.3%)	テニス (30.3%)	バドミントン (38.0%)	テニス (26.3%)	水泳 (23.8%)	サッカー (22.3%)	卓球 (21.8%)
シンガポール	サッカー (47.2%)	水泳 (38.1%)	バドミントン (32.1%)	自転車 (24.2%)	バスケットボール (19.8%)	水泳 (44.2%)	バドミントン (28.3%)	自転車 (27.5%)	サッカー (12.4%)	陸上 (9.7%)
クアラルンプール	バドミントン (62.7%)	サッカー (58.0%)	水泳 (32.4%)	自転車 (26.8%)	モータースポーツ (24.3%)	バドミントン (59.4%)	水泳 (35.0%)	自転車 (31.1%)	サッカー (19.2%)	バレーボール (18.7%)
バンコク	サッカー (90.0%)	ムエタイ (24.5%)	ボクシング (21.5%)	バレーボール (17.0%)	セパタクロー (17.0%)	バレーボール (49.0%)	サッカー (41.3%)	バドミントン (19.3%)	水泳 (17.8%)	テニス (15.5%)
メトロマニラ	バスケットボール (78.3%)	ボクシング (26.3%)	バレーボール (19.3%)	バドミントン (16.0%)	水泳 (14.5%)	バレーボール (55.8%)	バドミントン (41.0%)	バスケットボール (38.5%)	水泳 (23.8%)	ボクシング (7.8%)
ジャカルタ	サッカー (81.8%)	バドミントン (25.0%)	バレーボール (10.5%)	モータースポーツ (9.5%)	ボクシング (9.5%)	水泳 (14.7%)	バドミントン (13.2%)	サッカー (10.5%)	新体操 (9.0%)	自転車 (8.5%)
ホーチミンシティ	サッカー (85.3%)	水泳 (19.0%)	バドミントン (10.5%)	バレーボール (10.3%)	テニス (7.5%)	水泳 (18.8%)	バドミントン (15.0%)	サッカー (5.8%)	バレーボール (5.3%)	新体操 (4.8%)
ヤンゴン	サッカー (89.2%)	セパタクロー (30.4%)	Cane Ball (28.4%)	水泳 (28.0%)	自転車 (22.4%)	サッカー (59.6%)	バドミントン (52.0%)	水泳 (26.8%)	自転車 (20.8%)	体操 (16.4%)
デリー	クリケット (92.9%)	サッカー (11.3%)	バドミントン (2.2%)	フィールドホッケー (2.2%)	バレーボール (2.0%)	クリケット (45.3%)	バドミントン (15.0%)	テニス (2.5%)	サッカー (1.5%)	水泳 (1.2%)
ムンバイ	クリケット (94.7%)	サッカー (29.8%)	バドミントン (19.2%)	テニス (17.3%)	バスケットボール (14.7%)	クリケット (75.1%)	バドミントン (20.2%)	サッカー (15.2%)	バスケットボール (9.5%)	テニス (9.0%)

<参考>

モスクワ	サッカー (70.8%)	アイスホッケー (36.8%)	ボクシング (34.0%)	バスケットボール (18.0%)	水泳 (16.0%)	フィギュアスケート (48.4%)	新体操 (28.0%)	シンクロナイズドスイミング (25.6%)	水泳 (19.6%)	テニス (15.2%)
ニューヨーク (2014年)	野球 (53.8%)	サッカー (51.0%)	バスケットボール (49.0%)	アメリカンフットボール (44.6%)	アイスホッケー (28.7%)	サッカー (35.3%)	水泳 (34.5%)	野球 (33.7%)	体操 (27.8%)	バスケットボール (26.6%)
サンパウロ (2014年)	サッカー (93.2%)	バレーボール (36.8%)	ボクシング (27.6%)	モータースポーツ (25.2%)	バスケットボール (19.6%)	サッカー (55.4%)	バレーボール (51.0%)	水泳 (18.7%)	体操 (12.4%)	ビーチバレー (10.8%)

好きなスポーツ：選択肢29

サッカー、バスケットボール、野球、ラグビー、バレーボール、テニス、バドミントン、ゴルフ、モータースポーツ、卓球、マラソン、陸上、水泳、シンクロナイズドスイミング、自転車、フィギュアスケート/アイススケート、柔道、体操、新体操、ボクシング、アイスホッケー、カーリング、アメリカンフットボール、クリケット、フィールドホッケー、ハンドボール、セパタクロー（インド・中国は対象外）、ムエタイ（タイのみ聴取）、Cane Ball（ミャンマーのみ聴取）

2.興味/関心が高いイベント・スポーツリーグ（男性）

ここでは、男性と女性それぞれの「興味/関心が高いイベント・スポーツリーグ」のトップ10を見ていきたい。

【男性】

・アジア15都市平均では、1位「FIFAクラブワールドカップ」（38.4%）、2位「イングランドプレミアリーグ」（34.0%）、3位「FIFAワールドカップ（2018年ロシア）」（31.9%）、4位「自国のサッカーリーグ」（26.9%）、5位「UEFAチャンピオンズリーグ」（25.4%）で、男性のトップ5をサッカーイベント・リーグが占めており人気の高さがうかがえる。オリンピックは、6位「リオデジャネイロオリンピック（2016年）」（24.2%）、10位「東京オリンピック（2020年）」（18.2%）、11位「ピョンチャンオリンピック（2018年）」（15.2%）。

・都市ごとに見てみると、多くの都市でサッカー関連やオリンピックがトップ5に入っているものの、台北とメトロマニラの1位は「NBA（全米バスケットボールリーグ）」、台北とソウルは「メジャーリーグベースボール」がトップ3に入り、台北は「ワールド・ベースボールクラシック」もトップ3に入っている。

ASEAN都市では「Southeast Asian Games」がトップ5に入る都市が多く、インド2都市（デリー、ムンバイ）では「クリケット」関連が圧倒的に高い。

Q:あなたが興味/関心が高いイベントやスポーツリーグなどはどれですか。（複数回答/選択肢24-39）

※選択肢は都市によって個別設定しているものがある（詳しくはP.5参照）

	男性									
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アジア15都市 (n=5,590)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (38.4%)	イングランドプレミアリーグ (34.0%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (31.9%)	自国のサッカーリーグ (26.9%)	UEFAチャンピオンズリーグ (25.4%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (24.2%)	自国のサッカー代表チームの試合 (24.0%)	スペインサッカーリーグ (23.2%)	NBA<全米プロバスケットボールリーグ> (22.9%)	東京オリンピック<2020年> (18.2%)
香港 (n=400)	イングランドプレミアリーグ (65.8%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (65.5%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (62.3%)	UEFAチャンピオンズリーグ (59.3%)	スペインサッカーリーグ (49.0%)	NBA<全米プロバスケットボールリーグ> (44.0%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (42.5%)	F1グランプリ (38.0%)	東京オリンピック<2020年> (36.5%)	自国のサッカー代表チームの試合 (21.5%)
台北 (n=400)	NBA<全米プロバスケットボールリーグ> (60.5%)	メジャーリーグベースボール (51.5%)	ワールド・ベースボール・クラシック (40.5%)	東京オリンピック<2020年> (39.8%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (38.8%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (36.0%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (30.3%)	F1グランプリ (28.3%)	全英オープンテニス<ウィンブルドン> (23.8%)	自国のサッカー代表チームの試合 (17.5%)
ソウル (n=250)	メジャーリーグベースボール (62.4%)	イングランドプレミアリーグ (58.0%)	ピョンチャンオリンピック<2018年> (57.2%)	スペインサッカーリーグ (47.2%)	自国のサッカー代表チームの試合 (44.8%)	UEFAチャンピオンズリーグ (43.6%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (36.8%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (36.0%)	ワールド・ベースボール・クラシック (34.0%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (27.6%)
上海 (n=404)	自国のサッカーリーグ (56.9%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (54.7%)	イングランドプレミアリーグ (54.0%)	東京オリンピック<2020年> (51.5%)	スペインサッカーリーグ (51.0%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (50.2%)	NBA<全米プロバスケットボールリーグ> (47.5%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (45.8%)	ピョンチャンオリンピック<2018年> (45.3%)	自国のサッカー代表チームの試合 (45.0%)
北京 (n=401)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (38.9%)	自国のサッカーリーグ (36.4%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (33.7%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (28.9%)	自国のサッカー代表チームの試合 (27.2%)	ピョンチャンオリンピック<2018年> (25.2%)	NBA<全米プロバスケットボールリーグ> (23.4%)	東京オリンピック<2020年> (21.4%)	スペインサッカーリーグ (20.6%)	イングランドプレミアリーグ (19.2%)
広州 (n=402)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (53.7%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (45.0%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (44.5%)	自国のサッカーリーグ (41.3%)	東京オリンピック<2020年> (40.5%)	自国のサッカー代表チームの試合 (39.8%)	イングランドプレミアリーグ (38.3%)	ピョンチャンオリンピック<2018年> (33.6%)	スペインサッカーリーグ (33.3%)	UEFAチャンピオンズリーグ (30.1%)
シンガポール (n=252)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (49.2%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (40.5%)	イングランドプレミアリーグ (40.1%)	UEFAチャンピオンズリーグ (26.2%)	28th Southeast Asian Games (24.2%)	F1グランプリ (23.8%)	スペインサッカーリーグ (19.0%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (17.1%)	NBA<全米プロバスケットボールリーグ> (12.7%)	自国のサッカー代表チームの試合 (7.5%)
クアラルンプール (n=407)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (59.7%)	イングランドプレミアリーグ (47.9%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (39.3%)	UEFAチャンピオンズリーグ (38.1%)	自国のサッカーリーグ (32.4%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (31.0%)	BWFスーパーシリーズ<バドミントン> (31.0%)	F1グランプリ (29.7%)	スペインサッカーリーグ (29.2%)	自国のサッカー代表チームの試合 (26.3%)
バンコク (n=400)	自国のサッカーリーグ (49.0%)	イングランドプレミアリーグ (43.8%)	28th Southeast Asian Games (41.5%)	自国のサッカー代表チームの試合 (36.3%)	UEFAチャンピオンズリーグ (31.0%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (26.8%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (25.3%)	スペインサッカーリーグ (21.8%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (19.0%)	ピョンチャンオリンピック<2018年> (13.3%)
メトロマニラ (n=400)	NBA<全米プロバスケットボールリーグ> (76.8%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (13.3%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (11.8%)	28th Southeast Asian Games (8.5%)	F1グランプリ (7.0%)	東京オリンピック<2020年> (5.5%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (4.8%)	UEFAチャンピオンズリーグ (4.0%)	メジャーリーグベースボール (3.3%)	全英オープンテニス<ウィンブルドン> (3.3%)
ジャカルタ (n=400)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (59.5%)	自国のサッカーリーグ (46.8%)	UEFAチャンピオンズリーグ (42.3%)	イングランドプレミアリーグ (38.3%)	スペインサッカーリーグ (27.0%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (22.8%)	自国のサッカー代表チームの試合 (17.3%)	F1グランプリ (12.3%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (8.8%)	Djarum Sirkuit Nasional 2015<バドミントン> (7.8%)
ホーチミンシティ (n=400)	28th Southeast Asian Games (57.3%)	イングランドプレミアリーグ (55.5%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (48.3%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (41.0%)	自国のサッカーリーグ (32.8%)	自国のサッカー代表チームの試合 (29.5%)	スペインサッカーリーグ (15.3%)	UEFAチャンピオンズリーグ (12.5%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (9.5%)	その他海外のサッカーリーグ (9.0%)
ヤンゴン (n=250)	イングランドプレミアリーグ (52.8%)	自国のサッカー代表チームの試合 (52.0%)	28th Southeast Asian Games (48.4%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (48.0%)	UEFAチャンピオンズリーグ (45.2%)	自国のサッカーリーグ (39.6%)	スペインサッカーリーグ (32.8%)	The FA Cup<サッカー> (29.6%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (28.0%)	AFF Suzuki Cup<サッカー> (18.8%)
デリー (n=408)	Cricket world Cup (89.7%)	CLT20<チャンピオンズリーグ20> (76.2%)	IPL<インドクリケットリーグ> (73.5%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (72.2%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (5.9%)	フィールドホッケー (5.4%)	スペインサッカーリーグ (2.2%)	イングランドプレミアリーグ (2.0%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (1.7%)	自国のサッカーリーグ (1.0%)
ムンバイ (n=416)	Cricket world Cup (91.3%)	CLT20<チャンピオンズリーグ20> (81.7%)	IPL<インドクリケットリーグ> (81.3%)	フィールドホッケー (22.4%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (13.9%)	自国のサッカーリーグ (12.0%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (11.8%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (6.0%)	自国のサッカー代表チームの試合 (5.0%)	イングランドプレミアリーグ (5.0%)
<参考>										
モスクワ (n=250)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (66.4%)	自国のサッカーリーグ (48.4%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (46.0%)	自国のサッカー代表チームの試合 (41.2%)	UEFAチャンピオンズリーグ (38.0%)	ピョンチャンオリンピック<2018年> (37.6%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (37.6%)	東京オリンピック<2020年> (36.0%)	イングランドプレミアリーグ (19.2%)	F1グランプリ (19.2%)
ニューヨーク(n=251) (2014年)	Football/Superbowl (62.2%)	メジャーリーグベースボール (46.6%)	Stanley Cup (36.3%)	NBA<全米プロバスケットボールリーグ> (31.1%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (30.3%)	NCAAバスケットボール (25.1%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (24.7%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (23.9%)	東京オリンピック<2020年> (23.5%)	ピョンチャンオリンピック<2018年>/マスターズゴルフ (18.7%)
サンパウロ(n=250) (2014年)	自国のサッカーリーグ (68.8%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (63.6%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (55.2%)	自国のサッカー代表チームの試合 (43.6%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (40.0%)	UEFAチャンピオンズリーグ (34.4%)	F1グランプリ (31.6%)	ピョンチャンオリンピック<2018年> (22.8%)	東京オリンピック<2020年> (12.4%)	スペインサッカーリーグ (10.8%)

2.興味/関心が高いイベント・スポーツリーグ（女性）

【女性】

- ・アジア15都市平均では、1位「FIFAクラブワールドカップ」（15.6%）、2位「リオデジャネイロオリンピック（2016年）」（12.6%）、3位「FIFAワールドカップ（2018年ロシア）」（12.3%）、4位「自国のサッカーリーグ」（12.0%）、5位「東京オリンピック（2020年）」（11.9%）。男性に比べると全体的に数値は低く、スポーツイベント・リーグに対する興味/関心は低い様子が見られる。
- ・都市ごとに見てみると、中国3都市（上海、北京、広州）はオリンピックへの関心が高く、上海と北京では「リオデジャネイロオリンピック（2016年）」、「東京オリンピック（2020年）」、「ピョンチャンオリンピック（2018年）」がトップ3に入っている。オリンピックが自国で開催されるソウルとサンパウロでもオリンピックへの関心は高い。
- また、男性と傾向が似ている都市も多く見受けられ、台北とメトロマニラの1位は「NBA（全米バスケットボールリーグ）」。台北とソウルでは「メジャーリーグベースボール」がトップ5に入り、ASEAN都市では「Southeast Asian Games」がトップ5に入る都市が多く、インド2都市（デリー、ムンバイ）は「クリケット」関連が圧倒的に高い。

Q:あなたが興味/関心が高いイベントやスポーツリーグなどはどれですか。（複数回答/選択肢24-39）※選択肢は都市によって個別設定しているものがある。

	女性									
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
アジア15都市 (n=5,614)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (15.6%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (12.6%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (12.3%)	自国のサッカーリーグ (12.0%)	東京オリンピック<2020年> (11.9%)	ピョンチャンオリンピック<2018年> (11.2%)	自国のサッカー代表チームの試合 (11.1%)	NBA<全米プロバスケットボールリーグ> (10.1%)	28th Southeast Asian Games (9.0%)	イングランドプレミアリーグ (8.0%)
香港 (n=400)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (36.3%)	東京オリンピック<2020年> (30.0%)	イングランドプレミアリーグ (27.8%)	世界体操選手権 (24.3%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (23.8%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (21.8%)	アジアビーチゲームズ (20.5%)	NBA<全米プロバスケットボールリーグ> (19.8%)	WTA女子テニスシリーズ (18.0%)	BWFスーパーシリーズ<バドミントン> (15.8%)
台北 (n=400)	NBA<全米プロバスケットボールリーグ> (31.5%)	東京オリンピック<2020年> (27.0%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (24.5%)	メジャーリーグベースボール (18.8%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (17.3%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (17.0%)	自国のサッカー代表チームの試合 (16.5%)	全英オープンテニス<ウィンブルドン> (15.3%)	ピョンチャンオリンピック<2018年> (14.3%)	ワールドベースボールクラシック (12.8%)
ソウル (n=250)	ピョンチャンオリンピック<2018年> (67.2%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (44.0%)	メジャーリーグベースボール (16.4%)	自国のサッカーリーグ (14.0%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (13.2%)	イングランドプレミアリーグ (12.0%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (10.0%)	東京オリンピック<2020年> (9.2%)	ワールドベースボールクラシック (8.0%)	スペインサッカーリーグ (4.4%)
上海 (n=406)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (24.4%)	東京オリンピック<2020年> (24.4%)	ピョンチャンオリンピック<2018年> (20.7%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (17.0%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (16.7%)	世界体操選手権 (15.3%)	自国のサッカーリーグ (12.6%)	NBA<全米プロバスケットボールリーグ> (11.6%)	アジアビーチゲームズ (11.3%)	イングランドプレミアリーグ (10.1%)
北京 (n=406)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (21.7%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (17.5%)	東京オリンピック<2020年> (14.0%)	自国のサッカーリーグ (14.0%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (13.1%)	世界体操選手権 (12.8%)	自国のサッカー代表チームの試合 (12.6%)	ピョンチャンオリンピック<2018年> (10.3%)	NBA<全米プロバスケットボールリーグ> (10.3%)	イングランドプレミアリーグ (8.9%)
広州 (n=403)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (33.3%)	東京オリンピック<2020年> (30.5%)	ピョンチャンオリンピック<2018年> (29.0%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (14.9%)	自国のサッカー代表チームの試合 (13.6%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (11.9%)	自国のサッカーリーグ (11.2%)	BWFスーパーシリーズ<バドミントン> (11.2%)	世界体操選手権 (10.7%)	その他海外のサッカーリーグ/マスターズゴルフトーナメント (9.9%)
シンガポール (n=258)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (20.9%)	28th Southeast Asian Games (20.9%)	F1グランプリ (19.8%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (11.2%)	イングランドプレミアリーグ (10.1%)	シンガポールマラソン (10.1%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (7.8%)	東京オリンピック<2020年> (4.7%)	アジアビーチゲームズ (4.3%)	NBA<全米プロバスケットボールリーグ> (4.3%)
クアラルンプール (n=411)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (32.8%)	自国のサッカーリーグ (24.8%)	自国のサッカー代表チームの試合 (20.9%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (18.5%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (16.3%)	BWFスーパーシリーズ<バドミントン> (15.6%)	東京オリンピック<2020年> (12.9%)	F1グランプリ (12.4%)	イングランドプレミアリーグ (10.7%)	世界体操選手権 (10.5%)
バンコク (n=400)	28th Southeast Asian Games (36.5%)	自国のサッカーリーグ (33.0%)	自国のサッカー代表チームの試合 (27.3%)	WTA女子テニスシリーズ (14.3%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (14.0%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (12.5%)	全英オープンテニス<ウィンブルドン> (12.0%)	イングランドプレミアリーグ (11.8%)	東京オリンピック<2020年> (10.3%)	ピョンチャンオリンピック<2018年> (9.8%)
メトロマニラ (n=400)	NBA<全米プロバスケットボールリーグ> (46.8%)	28th Southeast Asian Games (9.8%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (9.3%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (5.3%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (5.0%)	WTA女子テニスシリーズ (5.0%)	東京オリンピック<2020年> (4.3%)	その他海外のサッカーリーグ (3.8%)	アジアビーチゲームズ (3.8%)	自国のサッカー代表チームの試合 (3.0%)
ジャカルタ (n=401)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (19.0%)	自国のサッカーリーグ (14.2%)	BWFスーパーシリーズ<バドミントン> (5.2%)	自国のサッカー代表チームの試合 (4.7%)	イングランドプレミアリーグ (4.7%)	Djarum Sirkuit Nasional 2015<バドミントン> (4.7%)	UEFAチャンピオンズリーグ (4.5%)	28th Southeast Asian Games (3.7%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (3.2%)	アジアビーチゲームズ (2.0%)
ホーチミンシティ (n=400)	28th Southeast Asian Games (9.0%)	自国のサッカーリーグ (5.0%)	自国のサッカー代表チームの試合 (3.3%)	イングランドプレミアリーグ (2.5%)	WTA女子テニスシリーズ (1.8%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (1.5%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (1.0%)	BWFスーパーシリーズ<バドミントン> (1.0%)	NBA<全米プロバスケットボールリーグ> (1.0%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年>/UEFA/その他海外のサッカーリーグ (0.8%)
ヤンゴン (n=250)	28th Southeast Asian Games (59.6%)	自国のサッカー代表チームの試合 (43.2%)	自国のサッカーリーグ (33.2%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (16.4%)	BWFスーパーシリーズ<バドミントン> (11.2%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (10.8%)	イングランドプレミアリーグ (8.4%)	UEFAチャンピオンズリーグ (6.0%)	AFF Suzuki Cup <サッカー> (5.6%)	The FA Cup <サッカー> (0.2%)
デリー (n=408)	Cricket world Cup (46.8%)	IPL<インドクリケットリーグ> (34.8%)	CLT20<チャンピオンズリーグ20> (30.4%)	フィールドホッケー (4.4%)	BWFスーパーシリーズ<バドミントン> (3.9%)	全英オープンテニス<ウィンブルドン> (2.0%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (1.2%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (0.7%)	自国のサッカーリーグ (0.5%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年>/東京マラソン (0.2%)
ムンバイ (n=421)	Cricket world Cup (71.5%)	IPL<インドクリケットリーグ> (62.7%)	CLT20<チャンピオンズリーグ20> (61.8%)	フィールドホッケー (17.1%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (7.6%)	自国のサッカーリーグ (7.4%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (5.5%)	BWFスーパーシリーズ<バドミントン> (2.9%)	東京オリンピック<2020年> (2.4%)	自国のサッカー代表チームの試合 (2.4%)
<参考>										
モスクワ (n=250)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (39.6%)	ピョンチャンオリンピック<2018年> (34.4%)	東京オリンピック<2020年> (32.4%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (22.0%)	世界体操選手権 (16.8%)	自国のサッカーリーグ (7.2%)	全英オープンテニス<ウィンブルドン> (7.2%)	F1グランプリ (6.8%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (4.8%)	自国のサッカー代表チームの試合 (4.0%)
ニューヨーク (n=252) (2014年)	Football/ Superbowl (46.0%)	メジャーリーグベースボール (31.7%)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (28.6%)	Stanley Cup (27.0%)	New York Marathon (17.5%)	東京オリンピック<2020年> (15.3%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (15.9%)	US Open <tennis> (15.5%)	ピョンチャンオリンピック<2018年> (15.1%)	FIFAワールドカップ<2018>/NBA (12.3%)
サンパウロ (n=251) (2014年)	リオデジャネイロオリンピック<2016年> (47.8%)	FIFAワールドカップ<2018 Russia> (36.7%)	自国のサッカーリーグ (33.5%)	ピョンチャンオリンピック<2018年> (18.3%)	自国のサッカー代表チームの試合 (17.1%)	FIFAクラブワールドカップ<サッカー> (16.7%)	F1グランプリ (13.5%)	東京オリンピック<2020年> (13.1%)	UEFAチャンピオンズリーグ (6.4%)	スペインサッカーリーグ (2.0%)

興味/関心の高いイベントやスポーツリーグの選択肢（男女共通）：39（全都市共通24、個別設定15）

リオデジャネイロオリンピック（2016年）、ピョンチャンオリンピック（2018年）、東京オリンピック（2020年）、FIFAワールドカップ（2018 Russia）、FIFAクラブワールドカップ（サッカー）、自国のサッカーリーグ、自国のサッカー代表チームの試合、イングランドプレミアリーグ、スペインサッカーリーグ、UEFAチャンピオンズリーグ、Jリーグ、その他の海外のサッカーリーグ、マスターズゴルフトーナメント、欧州PGAツアー、メジャーリーグベースボール、ワールド・ベースボール・クラシック、全英オープンテニス、WTA女子テニスシリーズ、F1グランプリ、東京マラソン、アジアビーチゲームズ、BWFスーパーシリーズ（バドミントン）、NBA（全米プロバスケットボールリーグ）、世界体操選手権

- ・香港のみ聴取：クリケットSixes
- ・シンガポールのみ聴取：シンガポールマラソン、ITUトライアスロン
- ・インドネシアのみ聴取：Djarum Sirkuit Nasional 2015（バドミントン）
- ・インドのみ聴取：Cricket world Cup、IPL（インドクリケットリーグ）、フィールドホッケー、CLT20（チャンピオンズリーグ20）
- ・中国のみ聴取：CBA（中国プロバスケットボール）
- ・ミャンマーのみ聴取：メコンカップ、The FA Cup（サッカー）、AFF Suzuki Cup（サッカー）
- ・ロシアのみ聴取：ヨーロッパバスケットボールリーグ
- ・インド・中国・欧米対象外：28th Southeast Asian Games、ISTAF sepaktakraw（セパタクロー）

※ Southeast Asian Games（東南アジア競技大会）の略称はSEA Games

東南アジア版オリンピックとも言われている。1959年から開催されている歴史ある総合競技大会で、現在ASEAN全10カ国と東ティモールが参加し、2年に1度開催されている。種目は、セパタクローを始め、ムエタイやブンチャック・シラット、陸上、水泳、テコンドー、レスリング、サッカーなど様々。<ASEAN-JAPAN CENTREホームページより>

3.スポーツ協賛に対する評価

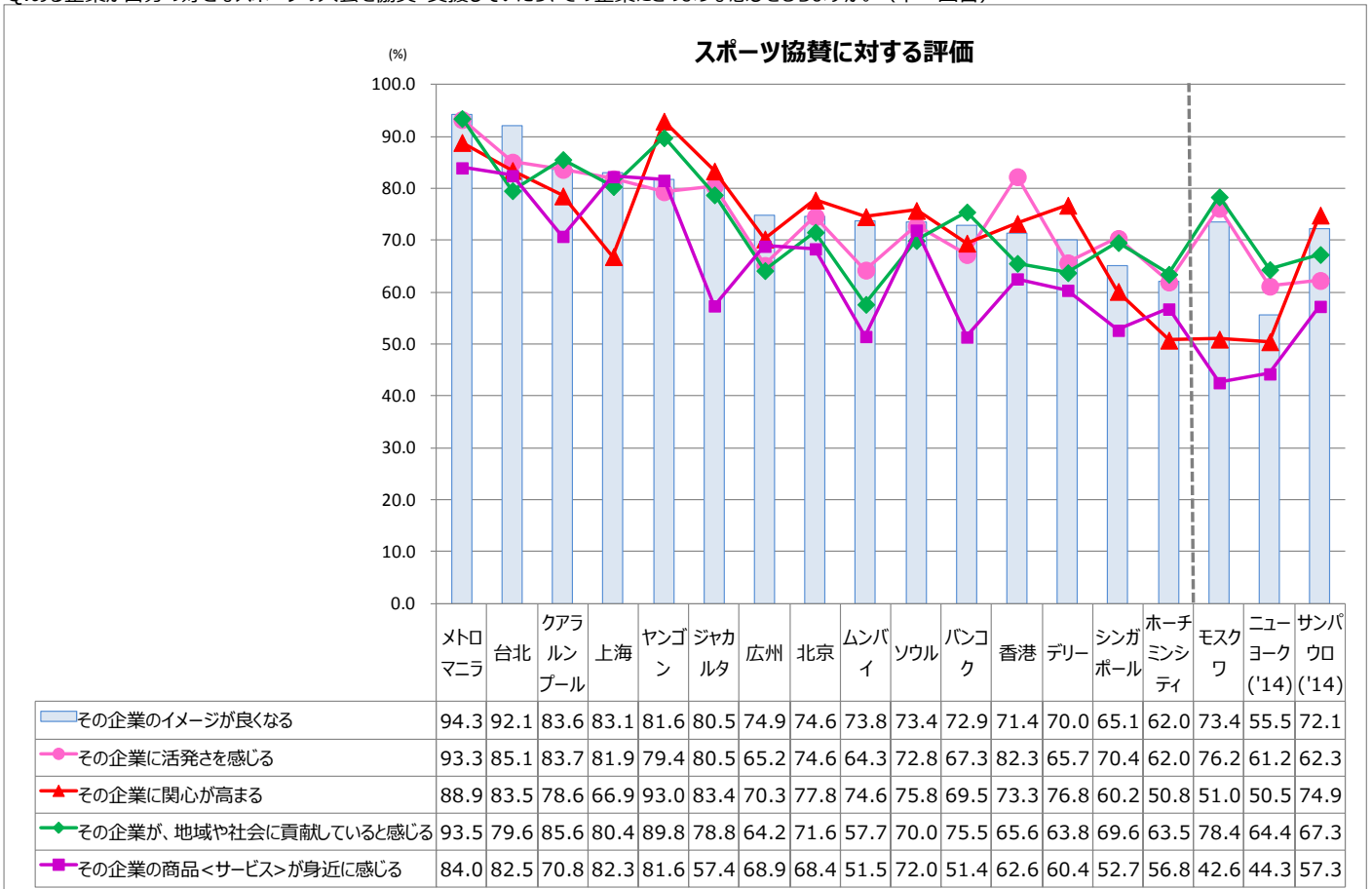
次に、スポーツ協賛が企業イメージの向上にどの程度影響を与えているか見てみたい。

下のグラフは、「自分の好きなスポーツの大会を協賛・支援している企業に対してどのように感じるか」について、5つの項目についてそれぞれ「Yes」と回答した割合を示しており、「その企業のイメージが良くなる」の割合の高い都市の順に並んでいる。※男女別ではなく都市全体の数値。

アジア15都市平均は、「その企業のイメージが良くなる」（77.2%）、「その企業に活発さを感じる」（75.3%）、「その企業に関心が高まる」（74.8%）、「その企業が、地域や社会に貢献していると感じる」（73.7%）、「その企業の商品（サービス）が身近に感じる」（66.7%）という順であった。都市ごとに見ても、アジア15都市において5つの項目全てで5割を超えていることから、スポーツ協賛がポジティブな影響を与え、企業イメージ向上に効果的である様子がうかがえる。

「その企業のイメージが良くなる」は15都市全てで6割以上で、メトロマニラ、台北、クアラルンプール、上海、ヤンゴン、ジャカルタでは8割を超えている。その他の項目については、「その企業に活発さを感じる」は香港とシンガポール、「その企業に関心が高まる」はソウル、北京、ジャカルタ、ヤンゴン、デリー、ムンバイ、「その企業が、地域や社会に貢献していると感じる」はクアラルンプール、バンコク、ホーチミンシティでそれぞれ最も高い割合となっている。一方、「その企業や商品（サービス）が身近に感じる」は、相対的に他の指標よりも低い割合にとどまっている。

Q:ある企業が自分の好きなスポーツの大会を協賛・支援していたら、その企業にどのような感じをもちますか。（単一回答）



4.好きな番組のジャンル

下表は、好きな番組のジャンルについて男女それぞれの結果を表している。

男性は、アジア15都市平均で1位「映画（79.3%）」に次いで、2位「スポーツ（64.6%）」。都市ごとに見ても、全ての都市でトップ5に入っておりスポーツ番組の人気は高い。

一方、女性は「ドラマ」と「映画」の人気が非常に高く、アジア15都市平均でも都市ごとに見ても「スポーツ」は上位に入っていない。

Q:あなたがTV/インターネット/ビデオ/DVDで見る好きな番組のジャンルは何ですか。（複数回答/選択肢10）

(%)

(男性)	映画	スポーツ	ドラマ	国内ニュース	音楽番組	バラエティ	海外ニュース	ドキュメンタリー	トレンド情報	アニメ
アジア15都市計	①79.3	②64.6	③64.5	④61.7	⑤44.3	39.8	36.9	35.4	26.0	19.6
香港	①89.0	③61.5	④59.3	②71.5	41.8	50.0	35.5	⑤51.5	30.0	40.0
台北	①91.5	⑤53.5	④54.3	②58.5	39.3	③57.8	33.5	31.5	39.5	39.5
ソウル	①76.4	②71.6	④51.2	③55.6	29.2	⑤50.4	13.2	45.2	34.0	15.6
上海	65.3	③75.2	①79.2	②76.0	49.3	④74.5	⑤70.5	66.6	50.2	14.6
北京	①72.6	④57.9	③69.3	②71.6	28.9	⑤43.4	42.4	28.4	21.9	7.2
広州	⑤52.2	②67.4	④57.7	①75.6	8.7	30.3	③58.2	27.4	22.4	2.5
シンガポール	①85.3	③46.0	②59.5	30.6	19.0	22.2	⑤37.7	④43.3	11.1	18.7
クアラルンプール	①89.2	③63.9	②69.0	37.3	④51.1	22.4	31.4	⑤42.3	29.0	35.6
バンコク	③61.3	②63.3	①75.8	④50.5	38.8	43.8	20.0	40.5	⑤49.8	15.8
メトロマニラ	①85.5	②67.0	③41.5	⑤39.3	30.3	31.0	28.0	④40.0	11.8	27.3
ジャカルタ	①69.3	③54.0	⑤39.0	②68.3	④50.3	19.3	9.8	9.0	11.0	21.3
ホーチミンシティ	②80.8	④59.5	③75.3	①82.3	⑤55.5	30.3	32.0	28.3	16.5	10.5
ヤンゴン	①83.6	②61.6	③61.2	⑤51.2	④60.4	3.2	43.6	22.0	5.2	17.2
デリー	①95.8	③83.8	②86.0	④76.5	⑤73.3	44.4	40.7	27.7	19.6	10.5
ムンバイ	①94.2	④76.0	②80.3	⑤63.2	③78.6	57.0	49.3	29.3	26.9	14.9

<参考>

モスクワ	①70.0	②68.0	28.0	③45.6	31.2	④42.4	30.4	⑤37.6	12.8	18.0
ニューヨーク (2014年)	①78.9	②59.8	③48.2	28.3	⑤35.1	20.3	22.7	33.9	12.0	④36.7
サンパウロ (2014年)	①94.4	③80.0	④71.6	②82.4	39.2	39.6	28.4	⑤57.2	21.6	39.6

(女性)	ドラマ	映画	国内ニュース	音楽番組	バラエティ	トレンド情報	海外ニュース	ドキュメンタリー	スポーツ	アニメ
アジア15都市計	①85.2	②77.5	③57.9	④52.7	⑤49.3	35.1	28.5	26.7	22.2	21.9
香港	②79.3	①83.0	③68.0	⑤53.8	④65.8	42.8	25.5	37.0	12.0	39.8
台北	②78.0	①85.3	⑤54.3	47.3	③65.8	④58.5	28.5	22.3	10.8	38.0
ソウル	①74.4	②69.2	④49.2	37.2	③60.0	36.8	6.0	⑤42.0	21.2	13.6
上海	①93.3	④65.3	③70.4	55.9	②83.0	④65.3	54.4	47.3	21.7	16.0
北京	①90.1	②68.0	③66.0	38.2	④62.8	⑤38.9	34.2	19.0	13.3	9.6
広州	①85.6	③61.5	②75.4	20.8	④56.3	33.0	⑤53.1	15.4	14.9	1.7
シンガポール	②79.8	①82.6	24.4	⑤28.3	③32.6	12.0	22.5	④31.4	12.0	19.8
クアラルンプール	②81.3	①82.0	④41.4	③51.6	20.2	⑤35.5	26.8	31.9	26.3	32.4
バンコク	①92.3	②62.8	③62.5	52.0	⑤57.3	④58.5	18.8	36.8	34.8	19.3
メトロマニラ	②74.8	①82.5	⑤37.0	32.8	③40.3	10.3	23.3	④38.5	29.3	31.0
ジャカルタ	①81.0	②66.8	④49.6	③63.6	20.7	13.5	8.0	2.2	9.0	⑤25.9
ホーチミンシティ	①90.5	②79.5	③74.8	④71.5	35.8	⑤37.0	13.8	16.5	7.8	18.0
ヤンゴン	②72.4	①80.4	④40.0	③70.8	2.0	23.6	⑤30.8	17.6	27.6	19.6
デリー	①99.0	②96.3	④69.1	③75.0	⑤53.7	23.8	36.3	20.1	38.7	17.4
ムンバイ	②94.3	①95.7	④63.9	③81.9	⑤63.2	24.9	34.4	26.1	50.1	21.6

<参考>

モスクワ	③64.0	①78.4	⑤38.8	④49.6	②67.2	14.0	18.0	29.2	11.2	27.6
ニューヨーク (2014年)	②71.0	①78.6	⑤30.2	③31.7	④31.0	14.3	20.2	28.6	25.8	24.6
サンパウロ (2014年)	①96.0	②89.6	③82.5	43.4	④56.6	26.3	21.9	45.8	45.8	⑤47.4

<2016年Vol.2レポート 調査概要>

【調査都市】 アジア15都市

香港、台北、ソウル、上海、北京、広州、シンガポール、クアラルンプール、バンコク、メロマニラ、ジャカルタ、ホーチミンシティ、ヤンゴン、デリー、ムンバイ

(参考)モスクワ、ニューヨーク(2014年調査)、サンパウロ(2014年調査)

【調査対象】 15-54歳男女

【サンプル数】 11,204名

【調査時期】 2015年5月上旬~8月中旬

博報堂のグローバル生活者調査

Global H A B I T[®]

Global H A B I Tは、2000年からアジアを中心に世界の主要都市で毎年実施している博報堂オリジナルの生活者調査です。都市間での比較はもちろん、同一都市の時系列比較も可能です。Global H A B I T調査では、「同一の生活者」(シングルソース)に、ライフスタイル、価値観からメディア接触、購入態度、様々なカテゴリーのブランド使用状況や意識を聞いています。そのため、ブランドユーザーはもちろん、意識レベルでのブランド支持者(購入意向者・好意者・ファン等)の分析が可能です。

<最新「Global H A B I T 2015」調査概要>

調査都市: 香港、台湾(台北)、韓国(ソウル)、中国(上海/北京/広州)、シンガポール、マレーシア(クアラルンプール)、タイ(バンコク)、フィリピン(メロマニラ)、インドネシア(ジャカルタ)、ベトナム(ホーチミンシティ)、ミャンマー(ヤンゴン)、インド(デリー、ムンバイ)
ロシア(モスクワ)

*中国(大連/瀋陽/武漢/成都/杭州/寧波/西安/福州)、オーストラリア(シドニー)、ドイツ(フランクフルト、ベルリン)、フランス(パリ)、イタリア(ミラノ)、スペイン(マドリッド)、イギリス(ロンドン) アメリカ(ロサンゼルス、シカゴ、ニューヨーク)、ブラジル(サンパウロ)は、2014年以前に調査。

調査対象: 15~54才男女で各都市500~800名

*上海/北京/広州については、「中国パワー生活者」(世帯月収20,000元以上、25~54才の男女1,500名)を追加

*デリー/ムンバイについては、「インドパワー生活者」(SEC A2以上、世帯月収40,000ルピー以上、25~54才の男女1,000名)を追加

サンプルは、世帯収入によってスクリーニングされた各都市の中上位収入層(都市人口の50~95%程度)が対象

調査時期: 2015年5月上旬~8月中旬

調査方法: 訪問面接(香港、台湾、韓国、シンガポール、クアラルンプール以外)
会場での個人面接(香港、台湾、韓国、シンガポール、クアラルンプール)

主要調査項目(※一部の項目はアジア・中国のみ):

<デモグラフィック / ライフスタイル>

- デモグラフィック ●ライフスタイル ●環境意識 ●メイド・イン・イメージ ●メディア/情報接触
- 買い物 ●趣味 ●スポーツ ●耐久財所有 ●旅行 ●住居

<商品・サービスの使用状況>

- 保険 ●クレジットカード ●コンビニエンスストア ●自家用車 ●二輪車 ●AV製品 ●家電製品
- 携帯電話/スマートフォン ●PC/プリンタ ●デジタルカメラ ●複写機 ●TVゲーム
- アルコール/非アルコール飲料 ●食品(インスタント食品、菓子)
- 化粧品 ●パーソナルケア商品 ●トイレタリー ●生理用品/紙オムツ

本件に関するお問合せ

博報堂 広報室	西尾・大足	Tel : 03-6441-6161
博報堂 研究開発局	高月・丸山	Tel : 03-6441-6153
博報堂DYメディアパートナーズ	スポーツビジネス局 福島・伊江	Tel: 03-6441-9621